

第10回仙台市新型コロナウイルス感染症対策会議 議事概要

日 時：令和3年2月5日(金)19時00分～19時25分

場 所：仙台市役所本庁舎3階 秘書課第一応接室

出席者：郡市長（議長）、藤本副市長、高橋副市長、危機管理監、総務局長、新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長、まちづくり政策局長、財政局長、市民局長、健康福祉局長、子供未来局長、環境局長、経済局長、文化観光局長、都市整備局長、建設局長、青葉区長、宮城野区長、若林区長、太白区長、泉区長、会計管理者、消防局長、教育長、議会事務局長、水道事業管理者、交通事業管理者、ガス事業管理者、病院事業管理者
仙台市医師会 永井顧問、宮城県保健福祉部 梶村次長

- 次 第：1. 開 会
2. 議 事
 (1) 本市の感染状況について
 (2) 宮城県の対応について
 (3) 本市の対応について
3. 閉 会

議事要旨：

(1) 本市の感染状況について

- ・全国の感染状況を見ると、首都圏などでは、感染者の発生数が一定程度抑制されてきたものの、依然として高止まりの状況が続いており、今月2日には、対象区域を10都府県としたうえで、国の緊急事態宣言が3月7日まで延長された。
- ・また、感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法について、感染者の入院措置や、事業者への休業要請等の実効性を高めるための法改正が、一昨日、国会で成立したところである。
- ・宮城県や本市においても、連日、新規感染者が確認されているが、この間の接待を伴う飲食店及び酒類を提供する飲食店への時短要請等により、クラスターや、感染者の発生を一定程度抑え込んでいる状況である。
- ・資料1について健康福祉局長より説明

(2) 宮城県の対応について

- ・資料2について新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長より説明

(3) 本市の対応について

- ・資料3について危機管理監より説明
- ・協力金について、経済局長から説明
- ・協力金について現在第1期要請分について、本日正午現在1,280件申請受付があり、1,045件支給済み、第2期要請分について1,040件申請受付し、来週から支給開始予定、第3期要請については8日より受付開始だが、全市対象のため大幅に申請が増加すると見込まれることから、専用ダイヤルや支援窓口の体制を強化して早期の支援ができるよう努めていく。

○関係局長より報告

<文化観光局長>

- ・トク旅キャンペーン停止期間の延長について、2月7日まで適用を停止しているが、Gotoトラベルキャンペーンが3月7日まで延期されたことに伴い当市についても3月7日までキャンペーン停止期間を延期する。

○市長より指示

- ・今回、昨年末より行ってきた営業時間短縮の要請を2月8日午前5時で終了するが、これまでの皆様のご努力を水泡に帰さないためにも、気を緩めることのないよう、市民や事業者に対する感染防止対策の徹底の呼びかけを継続・強化すること。
- ・首都圏など、10の特定都道府県との不要不急の往来の自粛についても引き続き周知に努めること。
- ・厳しい状況の中、要請に協力いただいた事業者への協力金の円滑な支給と、時短要請等で深刻な影響を受けている地域経済に対し、経済対策第6弾の実施に向けた準備もしっかりと進めること。
- ・ワクチン接種についても、新たな体制で遺漏の無いよう準備を進めること。
- ・各局等における取り組みについても万全を期すること。

○仙台市医師会 永井顧問より

- ・仙台市が自宅療養者の方へパルスオキシメータを貸与することを決めて自宅療養者へ安心感が高まったと思う。
- ・高齢者施設、障害者施設が厳しい状況になってきているが保健所業務も大変だが、見守ってほしい。
- ・市民の方にはこれからも協力して飲み会は自粛してほしい、油断すると元に戻ってしまうことを危惧している。

○宮城県保健福祉部 梶村次長より

- ・引き続き医療体制の拡充や高齢者、若者への対応について仙台市と連携していきたい。

○市長より総括

- ・国の緊急事態宣言が3月7日まで延長されており、本市も含め全国で、引き続き感染拡大をくい止めるため、取り組みを進めていかなければならない。
- ・今回、飲食店への営業時間の短縮要請は終了となる。事業者の皆様には、今回の要請にご協力いただいた一定の効果として感染者数の減少をみることができたことに、改めて感謝申し上げますとともに、引き続き感染予防対策をお願いしたい。
- ・また、市民の皆様にも、会食する際には、少人数、短時間で、食べる時だけマスクを外し、会話の時はマスクを着用するなど、感染リスクを低くする工夫をしていただくよう周知いただきたい。
- ・今後も、感染状況等を踏まえ、感染拡大の防止と社会経済活動の維持と両立を持続的なものとするため、市民、事業者の皆様と一体となり総参加の思いで各般の取り組みを全力で進めていく。

以上